

専門課程シラバス

| | | | | | |
|-------|---|---------|----------|--------|-------|
| 科目区分 | 専門分野 | 単位数・時間数 | 1単位・30時間 | 開講時期 | 2年・前期 |
| 授業科目名 | 母性看護学Ⅰ 周産期にある対象の理解(正常・異常) | | | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員 | 松本 裕子 | | 実務経験 | ○(助産師) | |
| 授業概要 | 出生前からのリプロダクティブヘルスケアの必要性を理解し、妊娠・分娩・産褥期の対象および新生児の正常な経過を促すための援助と、異常に移行しないための予防や早期発見の方法を学ぶ。 | | | | |
| 学習目的 | 周産期における母性と新生児の健康の保持・増進をするための基礎的知識を学ぶ。また、妊婦・産婦・褥婦および新生児の特性を理解し、それら家族を含めた看護について理解する。さらに、周産期における母性と新生児の異常の早期発見に努める方法を学ぶ。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 出生前からのリプロダクティブヘルスケアの必要性を理解する。 2. 妊娠・分娩・産褥各期の特性と家族を含めた看護を理解する。 3. 新生児の生理的特徴を理解する。 4. 妊娠・分娩・産褥各期の異常と看護を理解する。 5. 新生児の異常と看護を理解する。 6. メンタルヘルスの問題を抱える母親の支援について理解する。 | | | | |
| | <ol style="list-style-type: none"> 1 出生前からのリプロダクティブヘルスケア(ケアの必要性・遺伝相談・不妊治療の看護) 2 妊娠期の看護(妊娠期の身体・心理・社会的特性、妊婦と胎児のアセスメント) 3 妊娠期の看護(妊婦と家族の看護・親になるために準備教育) 4 分娩期の看護(分娩の要素・分娩第1期～4期の看護の実際) 5 分娩期の看護(産婦・胎児、家族のアセスメント、産婦と家族の看護) 6 産褥期の看護(産褥経過・産褥期の身体的・心理的・社会的変化と褥婦のアセスメント、退行性変化・進行性変化促進の看護) 7 産褥期の看護(褥婦と家族の看護・施設退院後の看護) 8 新生児の看護(出生直後の看護、新生児の生理的特徴とアセスメントおよび看護) 9 妊娠の異常と看護(ハイリスク妊娠、妊娠期の感染症、妊娠疾患、多胎妊娠、妊娠持続時間の異常、異所性妊娠) 10 分娩の異常と看護(産道、娩出力、胎児の異常による分娩障害) 11 分娩期の異常と看護(胎児機能不全、分娩第3期および分娩直後の異常、分娩時異常出血産科処置と産科手術) 12 産褥期の異常と看護(子宮復古不全、産褥期の発熱、産褥血栓症) 13 産褥期の異常と看護・メンタルヘルスの問題を抱える母親の支援 (精神障害のある褥婦、育児困難を抱える母親への看護、児をなくした褥婦・家族の看護、妊娠・出産育児への影響・治療および看護) 14 新生児の異常と看護(新生児仮死・分娩外傷・低出生体重児) 15 新生児の異常と看護(高ビリルビン血症、新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症) <p>終講試験</p> | | | | |
| 評価方法 | 筆記試験(100%) | | | | |
| 教科書 | 系統看護学講座 専門 母性看護学各論 第14版 医学書院 2025 | | | | |
| 参考図書等 | ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版 | | | | |
| 備考 | | | | | |